

南幌町誘客交流拠点施設整備運営事業受託者選定に係る公募型プロポーザル選定結果について

## 1. 件名

南幌町誘客交流拠点施設整備運営事業

## 2. 審査方法

選定委員会において、提出された企画提案書等関係書類及び参加者からのプレゼンテーションを実施し、評価基準に基づき総合的に評価し順位付けを行い、1位と選定した委員が最も多い参加者を優先交渉権者として1者、次点の参加者を第2交渉権者として1者選定した。

## 3. 選定委員会の開催

選定委員会の開催日及び内容は、以下のとおりである。

回	開催日	内容
第1回	令和2年5月14日(木)	・事業者選定委員会について ・プロポーザル実施要領及び要求水準書について
第2回	令和2年7月28日(火)	・事業コンセプト、実施方針について ・事業者選定評価基準について
第3回	令和2年8月6日(木)	・事業者選定評価基準について
第4回	令和2年8月19日(水)	・応募事業者の確認 ・企画提案書の内容について ・審査方法及び事前評価について
第5回	令和2年8月21日(金)	・応募事業者によるプレゼンテーションの実施
第6回	令和2年8月25日(火)	・優先交渉権者の選定 ・審査講評

## 4. 応募者及び審査結果

参加事業者募集期間において、4グループによる参加表明を受理したが、企画提案書の提出前に1グループより辞退届の提出があったため、3グループによるプレゼンテーション及び選定審査を実施した。

審査の結果、下記のグループを優先交渉権者として選定した。

応募グループ 代表企業	大和リース 株式会社 (以下、「大和リースグループ」と表記)
設計業務（建築）	株式会社 創建社
設計業務（外構）	高野ランドスケーププランニング 株式会社
建築業務	株式会社 玉川組
維持管理業務	イオンディライト 株式会社
運營業務	株式会社 オカモト
エリアマネジメント業務	株式会社 GLOCAL DESIGN

\* その他協力企業として

遊具設計・商品：株式会社 ボーネルンド

木育遊具：東京おもちゃ美術館

なお、次点となり第2交渉権者となったグループは公表はせず、該当事業者への通知のみとする。

## 5. 提案内容に関する講評

各グループにおける選定委員会での主な評価及び指摘事項について下記のとおりとする。

### <大和リースグループ>

- ・代表事業者及びグループを構成する各企業における実績が充実しているほか、地域貢献として、地元企業の協力・連携体制について「協力意思表明書」を締結するなど、優れた事業実施体制の構築がなされている。
- ・本事業の目的やコンセプトを十分に理解し、子どもに対しての「遊び」と利用者間の「交流」を意識した提案内容となっている。
- ・事業コンセプトを実現させるために、十分な面積を有した施設提案となっている。
- ・「遊び」の提案について、専門的な協力企業との体制整備をすることで、民間ノウハウを活用した施設整備計画が示されている。
- ・維持管理運營業務について、新型コロナウイルス感染症対策を意識した提案や、安全管理の機能について優れた提案となっている。
- ・運營業務において、自主事業についての具体的で実現性の高い提案がなされているほか、従業員研修において具体的な内容や回数が見込まれている。
- ・外構計画における半屋外の空間については、他グループの提案と比較すると若干不足している。
- ・エリアマネジメント計画について、段階的なまちづくりへの具体的な取組みが示されている。

<Aグループ> ※プレゼンテーション順番①のグループ

- ・事業実施体制において、運營業務の実績が不足しているが、それらを補うためにSPCを設立するなどの工夫が見られる。
- ・地域の活動団体と事前に情報共有を行い、具体的な協力体制の構築を進めている点など評価できる。
- ・施設の外観、外構、半屋外空間のデザインなど、中央公園との調和に配慮した非常に優れた提案となっている。
- ・外構（中庭空間）の利活用について具体的で魅力的な提案が示されている。
- ・遊戯エリアにおいて、「運動」という視点での関係団体の協力による取組みに対しては評価できるが、利用者の子供達が好奇心を刺激され、何度も訪れたいような「遊び」を実現するための、遊具の設置やエリアの面積については若干不足しているように見受けられる。
- ・多目的エリアにおいて、カフェを中心とした提案となっているが、利用者間の「交流」というコンセプトに対する具体性が不足している。
- ・エリアマネジメント推進業務における、段階的なまちづくりへの取組みや、将来に向けたまちづくりへのビジョンと体制づくりについて、具体的で実現性の高い提案となっている。

<Bグループ> ※プレゼンテーション順番②のグループ

- ・事業実施体制において、運營業務の実績が不足していることが見受けられ、子どもの遊戯施設という特殊な施設運営への業務遂行に対し、それらを補うような従業員教育等の具体的な提案が見られない。
- ・南幌町の潜在能力と新しい生活様式を意識した、テレワークやサテライトオフィスに関する提案については、独自性があり将来を意識した事業全体コンセプトの提案となっている点は評価できる。
- ・遊戯エリアにおいて、特徴的で独自性のある立体遊具とネット遊具の組み合わせの提案は、利用者の好奇心が刺激される、優れた提案となっている。
- ・多目的エリアにおいて、団体活動やイベント、テレワークを意識した提案となっているが、利用者間の「交流」というコンセプトに対する具体性が不足している。
- ・ユニバーサルデザインについて、全ての利用者に解りやすくデザイン性の高い優れた提案となっている。
- ・維持管理業務、運營業務について、具体的な業務内容の提案が不足している。

## 6. 総評

本事業は、子どもの遊戯施設を中心とし、利用者間の交流が生まれる複合施設であるほか、町民の集いの場や憩いの場と合わせて、町外からの誘客を図り、整備地である中央公園と連動させたエリアマネジメントを推進するという複数の業務が関連する、極めて特殊であり複雑な事業の企画提案を求めるものである。そのような点では、実施要領の公表から企画提案書の受付までの限られた時間の中で、3事業者グループより応募をいただき、いずれも、本事業の目的やコンセプトを十分に理解した提案となっており、研究と努力を重ねた熱意が見られる非常に優れた素晴らしい提案であった。

本事業の適正な事業者選定に向け、事業者プレゼンテーション前に4回の選定委員会を開催し、事業方針やコンセプト、評価基準の確認等を行うなど選定委員会として十分な準備を進め、提出された企画提案書による事前評価と、事業者プレゼンテーションによる再評価という段階を踏まえた審査を行い、大和リースグループを優先交渉権者として選定した。

今回選定された大和リースグループの提案においては、各構成企業の豊富な実績に基づく具体的かつ実現性の高い提案であることや、要求水準に求める提案だけでなく、自主事業の取組みや独自性のある自由提案も多く示されている点などが高評価であったと言える。また、施設のメインとなる遊戯エリアにおいては、子ども達の好奇心を刺激し魅力的な遊具計画や動線計画が示される非常に優れた提案であると評価できる。優先交渉権を得た大和リースグループにおいては今後、町や地域住民、関係団体と十分な協議を行い、より良い施設整備運営計画としていくとともに、本事業のメインコンセプトである「“人”と“まち”、“公園”を育てる交流施設」の実現に向けて注力していただくことを強く期待する。

最後に選定委員会として、各事業者グループにおける企画提案書作成にあたっての熱意、努力に対して大変高く評価しており、各応募グループの構成企業の皆様には、深く感謝申し上げる次第である。